

せい ろう まち  
**聖籠町**  
**議会だより**

VOL.  
**92**  
平成22年11月5日発行

～笑顔シリーズ④～

**笑顔でハッスル!**



**平成21年度決算を認定**  
**8人が一般質問**  
**委員会報告**

6・7ページ

9～17ページ

18・19ページ

[ 亀塚ぼんぼん祭 ]



# 9月定例会

平成22年第3回定例会は、9月14日から9月30日までの17日間の会期で開かれました。町長からの行政報告、各常任委員長の閉会中の調査報告があり、教育委員会委員の任命については不同意となりました。聖籠町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正と専決処分承認を求める一般会計補正予算など16議案が慎重に審議され、原案どおり可決されました。

また、私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書及び選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正に反対を求める意見書に関する陳情書は全会一致で可決しました。

平成21年度決算認定については会期中に、決算審査特別委員会を設置し、各会計ごとに慎重な審議をしました。その結果、本会議において全会一致で認定されました。

一般質問では8人の議員が、町長選挙の開閉時間繰り上げ、教育、第4次総合計画などについて町政全般を質しました。

# 教育委員 宮下由美子さん 不同意

平成22年9月30日をもって任期満了となる、教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めるもので

す。教育委員宮下由美子さんを引き続き委員に任命するため議会の同意を求めるものです。

## 主な質疑

任基準はあるか。

実績と経験を評価

## 委員の任期

何年必要か

町長 委員は、広く町内から求めることは同感である。地域性と公平性が必要であるが、教育課題に対応する経験と実績を評価し3期12年が好ましいと思うが再任を願いたい。

## 反対討論

小川益一郎 議員

聖籠町の教育行政の中で大きな問題は、中学校統合は感謝しているが、統合の手法や内容には賛否両論があった。

特に教科センター方式により日本一いきいきした学校をめざし、学力向上の取り組みは実績が上つていないし、責任ある教育委員としての評価は少ない。

また、昨年3月18日に坂口教育長不同意の撤回を求め全議員に教育委員全員がまわった。教育委員会の公正・公平・中立を忘れた政治介入である。高い見地から自らを律することが望まれる。

## 賛成討論

桜井 怜 議員

教育委員会に対し、議事から学力向上について叱咤激励している昨今である。教育委員5人の中で任期が一年二年の方が多くコロナ禍替えるのに疑問である。

来年から小学校の学習指導要領が変わり、再来年から中学校も変わる。教育委員の中で充分議論したり、学校と協議し学力向上に取り組んでもらいたい。宮下さんの豊富な経験を活用してもらうためにも再任をお願いしたい。

無記名投票の結果  
反対 7票  
賛成 6票  
結果 不同意  
となりました。

## 5期目に臨む所信

## 第4次総合計画中間答申

## 中学生送迎バス試行運行

## 行政報告



渡邊町長

選挙で当選させていただき、改めて、町民のみならず感謝と御礼を申し上げると共に、職責の重さを痛感しています。これから4年間の任期は、6項目の基本公約を順守し、基本政策の第4次総合計画を策定、来年3月の議会定例会に基本構想の承認を得て、来年度から前期5カ年の基本計画をスタートさせ、目指すべき町づくりの実現に努力していきます。

第4次総合計画は、先般9月10日に、同審議会の地濃会長から基本構想並びに前期基本計画の中間答申をいただきました。審議会では、今後更に検討を加え、今年12月に最終答申をする予定です。7月20日付けで「聖籠町新型インフルエンザ対策本部」から「聖籠町新型インフルエンザ警戒本部」へ移行し、本部体制を縮小しました。今後の流行いかによ

つては、速やかに対策本部を再設置できるよう警戒体制を維持していきます。また、本町でも子官類が予防のため、10月より中学1年生から3年生までを対象に、接種料全額助成を実施していきます。来年度からの改訂学習指導要領の全面実施に伴い、三小学校では、聖籠町立学校・園の教育指針「等との整合性をはかりながら、12年カリキュラム構想」を踏まえた計画を策定していきます。中学校では、国の委託事業「魅力ある学校づくり調査研究事業」を今年度取り組み中で、12月には中間発表会を計画しています。なお、中学生の通学バス運行にかかる予算を計上し、冬期間の12月から2月までの3カ月間、通学バスでの送迎を試行という形で、運行したいと考えています。

# 県消防大会の採点 なぜ非公表

専決処分の承認を求める一般会計補正予算について、聖籠町消防団が新潟県ポンプ操法競技大会に出場するための予算238万円と、町税還付金1100万円の専決処分をしたものです。

## 主な質疑

選考結果は公表しないのか

小川益一郎議員 聖籠町消防団が地区支会で優勝し、県大会では11位であった。

ミスは無かったと聞くが、減点は公表されているのか。

技術向上するためには減点の公表が必要でないか。

採点は非公表

原地区支会の採点は、公表されているが、県大会は非公表である。国の基準により実施し

生活環境課長 三市北蒲



県大会でガンバル消防団



# 一般会計補正予算

町税還付金  
水田農業確立対策補助金  
聖籠町地域活性化対策事業補助金

700万円  
1350万円  
3226万円

平成22年度の既定予算に、1億1385万円を追加し、総額72億472万円とするものです。

主なものは、町税還付金700万円、水田農業確立対策補助金1350万円、聖籠町地域活性化対策事業補助金3226万円、道路整備物件及び電柱移転等補償費510万円、予防接種補助費（子宮頸がんワクチン接種）799万円、通学バス運行業務委託料1200万円などです。

## 主な質疑

長すぎないか  
品質確認

五十嵐利栄議員 米粉パン工房は、10月から11月に稼働が始まる。製品の品質確認は必要だと思う。しかし、学校給食に米粉パンを供給開始するのは、平成24年4月からの計画であるという。一年半も品質確認が必要なのか。来年度からでも供給が可能ではないか。町内の学校給食に供給する米粉パン総数は2000個であるが、稼働する米粉パン工房における最大製造数は500個である。

体制が整えば供給開始

町長 学校給食への米粉パン供給について、平成24年度からという供給開始は担当課の最長計画である。体制が整えばなるべく早い時期に供給開始したい。パン工房の規模を大きくすることは出来ない。今後、学校給食運営委員会等で検討し、栄養士にも相談して、500個

ある。学校給食の献立を工夫することで、500個を毎日製造し4日間で各学校に供給することはできないか。

のパンを供給したい。地産地消の観点から、加工センターを経て米粉がパン工房へいくことが理想である。

バス待合所  
設置の理由は

五十嵐利栄議員 中学校前にあるバス停留所に待合所設置なのか。後日、追加提案される通学バス導入のさいはどのようなのか。具体的な設置理由は何か。

夏からの  
懸案であった

学校教育課長 エコバスを使い通学する中学生における、停留所の環境を



おいしい米粉パンづくりの研究中

補助率50%

良くする必要性が7月頃から持ち上がった。後日、追加提案される通学バスの待合所ということではない。しかし、通学バスが可決された場合、待合所の設置場所について、改めて検討を要することになる。

畑かん整備の補助率どのくらいか

加藤正之議員 大夫興野地区畑かん施設整備事業の補助率はこのくらいで、整備内容は何か。



聖籠中学校の朝・夕の送迎ラッシュ

## 主な質疑内容

通学バスの要請はどこからか。  
教育委員会の中で、いつから通学バスの議論はされていたのか。  
新規に通学バス事業を行うことではなく、循環バス（エコバス）を拡大利用できる事業にした方がよかつたのではないかと。バス利用の条件が通学距離3キロ以上の生徒ということだが、集落の境目で微妙な距離になる。3キロ以上に拘らず3キロ以内であつても無条件にバス利用可能にすべきではないか。

バスを導入することで保護者に対し、町として、基本的に自家用車で生徒を送迎しないでほしいという強いメッセージを出すべきではないか。

小学校の児童は集団登校で遠距離であつても歩いて登下校している。今後、中学校のバス通学との整合性を考えるべきではないのか。

## 主な答弁内容

3キロ以内に  
おいても柔軟な  
対応をはかる

町長 中学校を統合して

10年経過した。この間、町行政にさまざまな声が届いた。  
通学手段に関して、特に悪天候時や冬期間の保護者の負担が重く大変だということであった。  
これまでの経過と実態を踏まえ、冬期間の通学バス運行を5期目の公約にした。  
通学バスを運行したとしても、循環バスを生徒達の利用しやすいものにし、最大限活用する。  
通学バスの利用申し込みできる生徒の諸条件については、保護者説明会等を通じ、保護者の意向を最大限反映させる。  
3キロ以上の生徒においても柔軟に対応する。  
保護者に対しては、自家用車での登下校の送迎は基本的に止めてもらうこと、メッセージを出す。

# 新たな事業

子宮頸がん予防ワクチン  
通学バス運行事務委託

799万円  
1200万円

## 主な質疑

ワクチン接種の  
正しい理解を

宮沢光子議員 子宮頸がん予防ワクチン接種は国に先駆け、県内及び全国の各自自治体でワクチン接種を行い始めた。しかし、保護者に対して、ワクチン接種の意味を十分に理解してもらわなければ、任意接種なので接種率は上がらない。生半可な知識では混乱を招く。医師・保健師等の医療の専門家や県内自

子宮頸がんワクチン接種費用助成事業（任意接種）  
対象者 中学1年生から3年生  
助成回数 3回（今年度中に1回でも接種を実施した人は、次年度に接種をした分についても助成対象）  
助成額 1回1700円を上限

治体のワクチン接種の先進地との情報交換等が必要不可欠と思う。今後、どういった計画か。

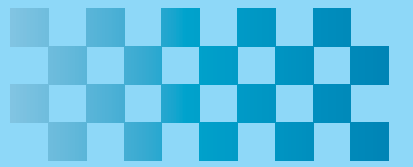
保護者に  
周知徹底をはかる

保健福祉課長 今後、対象生徒に通知を出す際に保護者に対して、がん及びワクチンに対する周知徹底をする。  
先進地との情報交換を現在進めている。今後も協議を重ね、ワクチン接種への理解を求めたい。

聖籠中学校通学  
バス運行事業  
（冬期間）

期間 平成22年12月1日から平成23年2月28日までの登校日  
対象者 聖籠中学校から片道の通学距離が概ね3キロ以上の生徒。教育委員会が特別に認めた生徒  
運行回数 登校時1便  
下校時2便  
利用料金 3カ月分1万円





# 平成21年度決算8会計を認定

平成21年度一般会計及び特別会計決算7会計は、決算審査特別委員会に付託され、9月24日、27日、28日の3日間にわたり慎重に審議しました。町長、副町長、教育長及び担当課長の出席を求め、各会計ごとに審査しました。その結果、本会議において、委員長報告のとおり全会一致で認定しました。

## 一般会計決算

平成21年度決算は、歳入総額87億3600万円、前年度対比8・3%増、歳出総額82億7305万円、前年度対比7・0%増、5億4455万円の増。繰越明許費1260万円、実質収支4億5034万円の黒字決算。財政調整基金15億1341万円で昨年度と比較して、21・7%の増。平成21年度決算は黒字決算であった。

## 特別会計決算

7特別会計については、意見を付した会計もあつたが、すべて全会一致で認定した。国民健康保険特別会計において、昨年度も指摘しているが、施設勘定においては実質的に赤字である。赤字要因として医薬分業による外来収入の減少や患者の専門医受診など考えられる。しかし、内部経費の削減と適正な人員体制に努め、適切な運営が行われることを望む。介護保険特別会計において、昨年度も指摘しているが、パイロット事業会計のあり方は以前から指摘されてきた。町の特別会計から切り離しを講じられたい。



白熱した議論が交わされた決算委員会

### ふれあい農園・交流館「杜」

ふれあい農園、交流館「杜」の運営改善を毎年指摘してきたが、改善がみられない。業務委託等も視野に入れて運営改善を望む。

### 亀代地区公民館

この解決策として、子ども手当を充当することも一助と考えられる。亀代地区公民館の利用状況が芳しくない。利用者増の施策を講じられたい。

### 学校給食費

学校給食費の滞納額が多額になっている。

### 補助金・委託金

歳出の各項目において

### 消防団

補助金、委託金が多くみられる。事業について十分精査し、事業仕分けの手法を取り入れた見直しを要望する。聖籠町の集落形態が変化している昨今、消防体制の見直しをして消防団の班編成と人員等の再構築を図られたい。

### 学力向上

学力向上のため様々な施策を講じているが結果は芳しくない。費用対効果を考え、放課後学習クラブ等のあり方を十分検討することを目指す。東山団地の最上階の利用が不便であるため、入居希望者から敬遠されている。この解消のための施策を検討されたい。

### 遊休農地

遊休農地が多くみられ、病害虫の発生等が問題となっている。農業従事者の高齢化、後継者不足が一因と思われるが、これに対処する組織を行政において構築する施策を講じられたい。

### 次第浜 浜山土地区画 整理事業

次第浜浜山土地区画整理事業が完了したことか



分列行進している消防団

# 決算委員会での主な意見



外構工事も完了した亀代地区公民館



# みなさんの 請願・陳情

第3回定例会では地域住民より直接の声となります陳情が2件、継続審査になっていた陳情1件が審査され、すべて採択されました。

## 採択した陳情

「私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情(陳情者新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村 直美) 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情(陳情者 代表者 錫村 良章) 農道整備(舗装)の陳情書(陳情者 道賀新田区長 加藤 富広)

## 意見書を国・県に提出

第3回定例会で3件の意見書が提出され、全回一致で可決されました。可決された意見書は、国及び県の関係機関に提出し実現するよう要請します。  
私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書(国宛て)(県宛て) 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書

## 自治功労者に対し 新潟県町村議会 議長会より表彰



多年(10年以上)にわたり町の地方自治の振興並びに、議会機能向上に貢献され功績のあった堀常正副議長と加藤正之議員が、平成22年8月に、新潟県町村議会議長会から表彰されました。

## 読者の声



小林 重則さん (亀塚)

「がんばれ聖籠町!」  
「がんばろう聖籠町!」

私の住む亀塚集落は東港開港に伴う集団移転から今年で30周年を迎え、8月15日、亀代小学校体育館で記念感謝祭が盛大に行われました。神輿もきれいに修理され、集落内を練り歩きました。移転10周年(20周年?)にお祭り担当がこれまでのお披露目となり、子供神輿も出て大勢の方で賑わいました。振り返れば、もう30年も経ったのか、と懐かしくなります。

当時は林や川などがあり、竹で作った「いのみ鉄砲」やザリガニを捕まえた自然が遊び場でした。今はそういった自然が少なくなり、さみしくもあります。その自分達が住んでいた場所が工業地帯となり、様々な企業が誘致され聖籠町の発展に貢献しているのではないかと感じています。  
経済状況が決して良いとはいえない今、県や新潟市と協力をし、更なる港湾開発を進め、活気あふれる町づくり、更には聖籠町だけでなく新潟県の活性化の基となるよう期待しています。そして未来の聖籠町を支える子どもたちが元気で生き育てるためにも、教育やスポーツなどのサポートが大切なんだと思います。  
がんばれ聖籠町! がんばろう聖籠町!

# ズバリ 直言

# 一般質問 町政を問う

次回の定例会は、  
**12月5日(日)開催予定**  
(日曜議会を開催予定です。)

## 8議員が質問

### 小川 益一郎 議員 (10ページ)

1. 投票時間繰上げは民主主義の破壊
2. 選管は政治介入するな

### 桜井 怜 議員 (11ページ)

1. ふれあいトークは継続か
2. 選挙公約をどのように進めるのか
3. 小学校の学習指導要領が変わる

### 宮沢 光子 議員 (12ページ)

1. どう受け止めているか選挙結果
2. どう思う下がった投票率
3. 図書館建設の具体的な計画は

### 五十嵐 利栄 議員 (13ページ)

1. 5期目が最後の選挙か
2. 集落推薦になぜ公文書か
3. 地場物産館の事業展開は

### 中村 恵美子 議員 (14ページ)

1. 住宅リフォーム助成を
2. どう考える介護保険見直し
3. 小学校にエアコン設置を
4. 投票2時間短縮なぜか

### 加藤 正之 議員 (15ページ)

1. 聖中の成果はいつ出る
2. 消防団長任命は踏襲するか
3. 町長選繰上げは突然だ

### 小林 政榮 議員 (16ページ)

1. 町長選挙の結果どう思うか
2. 5期目の町政運営の考えは
3. 農業振興どうする

### 高松 守雄 議員 (17ページ)

1. 今後のまちづくりは
2. 日本海側拠点港選定の状況は
3. どうする道路整備





小川 益一郎議員

# 投票時間繰上げは民主主義の破壊

## 選挙管理委員長 総合的に判断し決定

**問** 8月22日執行の町長選挙投票所の開閉時間は、公職選挙法第40条の規定によれば、「午前7時に開き午後8時に閉る」とされている。

ただし、選挙人の投票の便宜のため必要があると認められる特別の事情のある場合、繰り上げ可能としている。

時間繰り上げた特別な事情とは何か。

繰り上げ理由の中で経費の削減と、早く町民に当選を周知したいと聞くが、削減額と町民への周知はどのようにしたか。

繰り上げ議論は、どのように検討したか。

2時間繰り上げは、なぜ突然町長選挙から実行されたのか。

投票率アップを至上命題とする選管が2時間繰り上げて、投票率はアップしたか。

前回町長選挙と比べて何%下がったか。人数にすると何人分か。

時間短縮は町長部局と協議したか。

今後実施するすべての選挙に2時間繰り上げ投票を実施するのか。

今回の選管決定は民主主義の破壊につながる行為と思うが所見は。

選管の責任はどのように考えているか。

**選挙管理委員長 期日前投票の定着と、2時間延長した平成16年以降の投票率のデーターを総合的に判断した。**

経費削減は29万円。選管内で十分議論決定した早い時期から実行。

7・19ポイント下落し大変残念、真しに受けとめたい。

人数は393人と試算している。

選管独自で決定。

町民への周知徹底をばかり、同じ考えで今後も2時間繰り上げを実施したい。

選挙制度は民主主義の根幹をなすものと思いい決定は選挙制度を否定するものではない。

責任については、非常に難しい。

# 選管は政治介入するな

## 選挙管理委員長 推定的見解を回答

**問** 町長選挙の候補者を集落推薦することについて、選管に集落から照会があったが、各集落の自治決定に介入する法的根拠はあるのか。

**答** 選管は、公平、公正、中立の機関である。

**選挙管理委員長** 回答文は推定的な見解で、委員会は政治介入である。



広がった期日前投票所

# ふれあいトークは継続か

## 町長 継続する

**問** 町長自ら集落に出向き、町民と語り合い意見を聞いてきた。

町民参加の町づくりを指す、ふれあいトークは、今後も行なっていく考えか。

**町長** ふれあいトークは各集落を回りひざを交えて、意見質問を直に聞く貴重な場と認識している。

また、出向くことにより集落の様子も知ることで、今後も開催していく。

# 選挙公約をどのように進めるのか

## 町長 早い時期実現に努力したい

**問** 図書館整備・中学生の冬期間通学バス・0歳から小学校卒業までの、

通院にかかる医療費の助成・介護者の施設入所に対する助成・子宮頸がん予防ワクチン助成・町の農業基本条例の制定・公共施設に太陽光パネル発電システム導入。

これらをどのように進めていくのか。

また、任期の間に達成のめどを立てるのか。

**町長** 図書館については、来年3月議会に建設委員会を組織する条例の提案をする。

中学生の通学バス運行については、12月から2月まで試験運行したい。子どもの通院にかかる医療費の助成と、介護施設入所者に対する負担額の助成は、23年度予算で対応をはかっている。

子宮頸がん予防接種助成は、任意であるが女子中学生全員を対象に、10月から全額助成したい。

農業基本条例の制定や太陽光パネルについても、基本的に来年度から早い時期での実現に努力したい。

# 小学校の学習指導要領が変わる

## 教育長 年間の指導計画整備に着手

**問** 昨年より新学習指導要領でも先行実施されたが、来年度は完全実施でスタートし、さらに学習時間も多くなる。どのような対応を考えているか。

**教育長** 新学習指導要領が来年度から全面実施になる。実施に向けて、平

成21年度より補助教員を配置し、必要な教材も購入した。

円滑に実施できるように要領に沿った、国語から各教科あるいは、道徳教育など年間の指導計画を整備し着手している。



元気に登校する中学生



桜井 怜議員





宮沢 光子議員

改革の中で検証したい。投票率が下がった要因の分析は難しい。

どう思う

下がった投票率

**選挙管理委員長** 重く受け止めている

**問** 一騎打ちの選挙戦を制し5期目に突入したが、過去の町長選と比較して最低の投票率だった。

選挙戦を振り返り相手候補が掲げていた公約について、どのような受け止め方をしたか。

「町の将来を良くしたい、町民の幸せを具現化したい」公約の根幹は二人とも同じだと思った。

しかし、幹部職員に町長の持つ権限を一部委譲するという相手候補の公約は、今後の町政運営には必要ではないか。

**町長** 権限委譲については適度な限度と程度があり、各自治体においてルールがある。しかし、今後、職員の意識改革を含め、行財政

**問** 投票時間を午後8時までとする法改正は平成10年6月からであった。

国・県選挙において、午後8時までであっても、当町は県下最低ランクの投票率である。期日前投票率が上がったということだが、他の自治体との相対評価ではなく、町だけの絶対評価である。

今回の町長選で投票時間2時間短縮を決めた理由が理解しがたい。

**選挙管理委員長** 今回、投票率が下がった事実を重く受け止めている。いつの選挙から2時間短縮するかは委員会の課題であった。今後、投票率を他の自治体と相対評価することも検討する。

## 図書館建設の具体的な計画は

**町長** 建設委員会を組織する

**問** 町長は後援会で町政報告をした際、公約にした図書館建設の方法論として、PFI導入を説明したと聞く。

「PFI神話の崩壊」という1冊の本があるが、そこに載っている各自治体が、PFIを導入して失敗した事例は参考に値する。PFI導入ありきの図書館建設になっていないか危惧している。

**町長** 今後、建設委員会を組織するが、PFI導入ありきの委員会にはしない。

**教育長** PFI導入のメリット、デメリットは今後、調査検討する。

一口メモ PFI（ピー・エフ・アイ）とは？

社会資本の整備・運営において、民間の資金・経営力を活用し、公共と民間が協力して行う事業の方式。



ゆったりのんびり 読書の時間

一口メモ PFI（ピー・エフ・アイ）とは？

## どう受け止めているか選挙結果

**町長** 類似していた互いの選挙公約

## 5期目が最後の選挙か

**町長** 発言した記憶もない

**問** 町長選挙は渡邊町長が58・6%、新人候補が41・4%で勝利したが、この結果をどう受け止めている。渡邊町長は5期目の選挙が最後の町長戦と内外に発信して、選挙に勝利した。

その考えは当選した現時点でも変わらないか。今回の選挙戦で示された相手候補の政策を取り入れていく考えはあるか。今回の選挙で投票率が前回より7・19ポイント低下したが、特に投票時間を2時間短縮したこと

の関連をどうとらえている。

**町長** 選挙結果は真実に受けとめている。これが最後の町長選挙という発言を、私を推してくれている身近な人が言ったかも知れないが、私自身はそのような発言をした記憶もない。

相手候補の具体的な公約の中身を承知していないので、どうこう言えないが、内容を精査して共通点があるものは取り組んでいく。投票率が下がった原因

の特定は難しい。投票時間を2時間短縮したことによる、利益・不利益は賢明なる判断に委ねるしかない。



新鮮な野菜がせいぞろい 地場物産館

## 地場物産館の事業展開は

**町長** 答えられない

**問** 地場物産館の東港水産跡の利用について、6月議会で補正予算を計上し、具体案を提示した。その後この計画はどこまで進展しているか。

また、テナント入居希望者などはなかったか。100%町出資会社なので答えるべきでないか。

**町長** 地場物産館のことなので答弁は控えない。



五十嵐 利栄議員

## 集落推薦に なぜ公文書か

**選挙管理委員長** 親切に対応した

**問** 今回の選挙で唐突に投票時間を2時間短縮した理由は何か。また、短縮した理由が公職選挙法第40条の「特別な事情」に該当すると考えているか。

二本松集落区長からの問い合わせがあった、集落推薦について、公文書で回答した根拠は何か。

**選挙管理委員長** 投票時間を2時間短縮した理由は、町民の意見や期日前

投票の定義など総合的に判断した。公選法第40条の「特別な事情」の定義はない。

二本松の集落だけでなく、問い合わせのあった人すべてに口頭や文書で丁寧に回答している。





中村 恵美子議員

# 住宅リフォーム助成を

## 町長 個人の財産なので助成しない

**問** 胎内市では、この2年間で住宅リフォームの申し込みが130件、1800万円の助成で約2億4000万円の経済効果がでていいる。

**町長** 建設業者の多い聖籠町こそ住宅リフォームの助成をすべきでないか。

**町長** 住宅のリフォームであったとしても、個人の財産形成なので、住宅リフォーム助成はしない。



日よけ対策している校舎

# どう考える

## 介護保険見直し

### 町長 現状では判断できない

**問** 国で検討されていることだが、特養ホームなど介護保険施設における医療看護、介護の機能を外部から提供する。ホームヘルパーが行っている生活援助の訪問介護を介護保険から外す。要支援1・2または要介護1程度の人を介護保険から外す。利用者負担を引き上げる。この3項目についてどう考えるか。

**町長** 介護保険について

現段階では、具体的に言及しておらず、11月中旬に意見を取りまとめるとしている。

指摘の3項目はどこまで取り組まれるか、現時点で認識できず、判断できない。

## 小学校にエアコン設置を

### 教育長 今後の状況をみて検討

**問** 今年は9月に入っても最高気温が30度を超えている。各小学校にエアコンを設置すべきである。

**教育長** 熱中症対策を講じるよう指導してきた。ある自治体の試算では、一校約5000万円であった。環境問題等、条件を加味しながら検討していきたい。

**問** 平成22年8月11日に日本共産党聖籠支部と一緒に、町長選挙の投票時間の短縮決定した理由についての申し入れを行った。

**町長** 選挙投票時間を2時間短縮の意図は何か。

投票率を向上させるため、若い人たちが20歳になった人を立会人に入れることも考えたかどうか。

**選挙管理委員長** 町長選挙の2時間短縮は、繰り上げしてもよいという意見や期日前投票が定着してきた。2時間延長した後の投票率を分析した結果、総合的に判断した。若い人を立会人という点では、一昨年ぐらいから優先的にランダムで選んでいる。

**投票2時間短縮なぜか**

**選挙管理委員長** 期日前投票の定着等で判断

# 聖中の成果はいつ出る

## 町長 期待を込めてもう15年

**問** 町長選挙の公開討論会で「聖中の学力は統合前から見れば上がってきており、もう10年か15年もすれば結果が出る」と発言したが、そんな悠長なことではないのか。

学力が上がってきている根拠は何か。

10年か15年もすれば結果が出る根拠は何か。

中学校の不登校の数字で、町長・教育長・学校長の言うことが違う。情報を共有しないと町民は惑わされる。

**町長** 生活指導の専門アドバイザーや家庭・地域教育審議会等、今やっている努力の成果を望んでいる話である。

10年間の推移を見ると、下がる年もあるが、全国や県平均に近づいていると報告を受けている。

魅力ある学校づくり事業で、学力の向上と社会性の育成に取り組んでいることから、期待を込めてもう10年か15年。

**教育長** 統合前の学力のデータはないが、統合直後に比べ緩やかな上昇傾向にある。極端に低下

したとは捉えていない。今後、正確な数値を示すよう心がける。町長にも正確な情報提供したい。

## 消防団長任命は踏襲するか

### 町長 町長の人事権である

**問** 町の一番の行政サービスは町民の生命・財産を守ることが最優先で、そのために消防団との連携は欠かすことができない。これまでは幹部会議で推薦された人を団長に

任命し、消防団との連携もうまくやってきた。団長の任命は、これまでのやり方を踏襲していくか。

**町長** あくまでも町長の任免権である。人格や経歴を基に、場合により絶対ではないが、幹部の意見を確認することもあるかもしれない。

## 町長選繰上げは突然だ

### 選挙管理委員長 いつかは区切りが必要

**問** 町長や町議会議員選挙の、午後6時から8時までの投票率の資料がないのに、投票時間の2時間繰上げを決定した。行

政は1年ごとに事業計画を立てるのが基本であるが、新年度に入り、すぐに計画変更することはどうか。

**選挙管理委員長** 良いこととは早く実行した方が良く、町長選挙から繰り上げた。周知徹底期間が短いなど、委員会での伯仲した議論の結果であり、何かやる場合は区切りが必要だ。



加藤 正之議員



いきいきしている中学生の授業風景





小林 政榮議員

# 町長選挙の結果どう思うか

## 町長 投票行動の特定は困難

**問** 平成14年度対比で投票率が約7ポイント低下している。  
 新人候補が獲得した3499票について、どのように受け止めているのか。  
**町長** 投票率の低下については、その行動を特定することは大変難しいと思っている。  
 相手候補の得票については、長期政権に対する批判につながっているのではないかと理解している。



にぎわう観光ぶどう園

# 農業振興 どうする

## 町長 将来につながる農業振興に努める

**問** 長期にわたる政権の運営については、一般の選挙において、争点の一つであった。  
 合併しない町づくりを選択した中で、今後の4

## 5期目の町政運営の考えは 町長 町づくりはあなたが主役

年間をどのような姿勢をもって臨もうとしているのか。  
**町長** 町民が主役の町づくり、基本条例を順守し、ふれあいトークの開催を

継続していく。  
 町民参画の開かれた身近な町づくりを目指し、公約の実現に向けて努力をしていく。

**問** 農業環境の厳しさに  
 ついては、町長も十分に承知していることと思うが、本町農業が基幹産業として将来にわたり、安定した経営が持続できるような、戦略的で、問題意識を共有できる農業ビジョンを示せないか。  
**町長** 多くの問題が山積している農業であるが、戸別対応としては、町単独助成等、行政支援のさらなる検討と共に、本町の農業政策の基本的な理念・計画・施策を規定する条例を制定し、町の役割を明確にする。  
 明文化された指針に基づき、将来につながる農業振興に努める。

# 今後のまちづくりは

## 町長 住民の意向を反映し策定する

**問** 町長は5期目の公約に「町づくりはあなたが主役です」と掲げているが、どのような町づくりを考えているのか。  
 基本政策で来春4月から10年スパンの第4次総合計画策定にあたり、将来の展望に立った町づくりの素案を住民に公表し、広く意見・情報を聞くパブリックコメント等、住民参加をどのように果たして策定していくのか。  
**町長** 計画審議会委員の公募や町づくりについて

の提案、調査意見は計画段階から町民参加に努めており、パブリックコメント等の手法については、最終答申を出す前に審議会の役割としてやることへターと思う。

**一コマモ**  
 パブリックコメントとは、行政機関が規制等に関する意思決定をする際の手続きとして、広く住民に求める意見や情報をいう。

**問** 国策で進める環日本海拠点中枢港湾の選定にあたって、産・官・学の連携による支援者協議会を通して、新潟東港が選定されるよう推進をはかり背後地の工業団地への企業誘致を促進するところ。  
 本施策への対応は、21世紀の聖籠町を大きく左右する大きなテーマと認識すべきものと考えているのか。  
**町長** 県知事を座長とした日本海側拠点港湾の将来ビジョンの策定委員会を設立、国に要望書を提出したところである。  
 国は、本格的な協議を始め来春をめどに決定する。



選定が期待される東港

## どうする道路整備

### 町長 予算提案して整備推進

**問** 町内には、幅6.5mに満たない道路や舗装されていない生活道路、未整備の道路がたくさんあるが、地域の実態に合わせて環境整備できないか。  
**町長** 要請で、住民格差なく、平等に整備していく必要性を認識している。参考までに未整備の道路としては、町道で実態

掌握で大体18カ所、それから旧赤道については30カ所程度ある。  
 これにかかる整備課題は、来年度から取り組んでいけるように議会と協議し予算付けをはかりたい。



高松 守雄議員

# 日本海側拠点港 選定の状況は

## 町長 来春の選定に向け期待

しかし、他の港湾の動きもあり、要請活動をして対応をはかっている中で、大いに期待できる。町としても港湾関連の専門部署を設けて本格的に取り組んでいきたい。

町内には、幅6.5mに満たない道路や舗装されていない生活道路、未整備の道路がたくさんあるが、地域の実態に合わせて環境整備できないか。  
**町長** 要請で、住民格差なく、平等に整備していく必要性を認識している。参考までに未整備の道路としては、町道で実態

掌握で大体18カ所、それから旧赤道については30カ所程度ある。  
 これにかかる整備課題は、来年度から取り組んでいけるように議会と協議し予算付けをはかりたい。



# 継続調査報告

## 生ごみ発酵事業など 調査

総務文教

8月6日、生ごみ発酵事業の進捗よく状況、町長選挙投票時間の繰上げ等について調査した。

生ごみ発酵事業は、平成18年度から段階的に取り組んできたが、平成22年度から次の段階に進む。

地域バイオマス利活用交付金を活用して、造成工事、建屋工事、機械等の設置・整備を行う。

国から補助金1億2400万円が内示された。

今後、各契約を経て工事に入る。

今年度の生ごみ収集の対象は、山倉学区全世帯で実質開始は平成23年3月から予定である。

国・県・町の選挙は、平成10年の法改正から投票時間は午後8時までであった



が、町選挙管理委員会は今回の町長選挙を午後6時までと決めた。

主な理由は、これまでの各選挙データから、2時間における投票者は、全体の5〜6%で大勢きたとは言いがたく、期日前投票の認知が進んだことによる。

## 米粉パン工場など 視察

厚生産業

8月5日、米粉パンについて、農産物の作柄状況について、町内企業の資金動向についての調査と陳情第3号農道整備の陳情書（陳情者 道賀新田区長 加藤富広）の継続審査を行った。

米粉パンについては、先進地である、胎内市の「株式会社タイナイ」の工場を視察調査した。

農産物の作柄状況は、水稲は7月の好天で生育は回復したが、草丈が高く、倒伏が懸念され、白未熟粒発生等による品質の低下が懸念される。

町内企業の資金動向は、中小企業不況対策資金が21年度年間1億5200万円22件に対し、22年度は4月〜7月の3カ月で5300万円12件と前年を上まわる



状況である。

陳情第3号は陳情の趣旨を認め、賛成多数で採択することを決定した。

## JFAアカデミー誘致に関する調査

JFAアカデミー

本委員会は、平成22年3月16日、4月14日、7月12日、7月26日、9月2日に庁内において会議を開催すると共に、先進地視察として、平成22年5月20日に福島県広野町役場・中学校・男子寄宿舎を訪問、7月5日・6日には熊本県宇城市役所・中学校・NPO法人スポーツアカデミー熊本宇城を訪問するなど、約6カ月間にわたり調査を行った。

調査の結果、施設整備の財源・運営・聖籠中学校の現状、地域や保護者の理解等を考え、JFAアカデミーの誘致は、聖籠町にはなじまないとの結論に至った。



## 全国広報研修会へ参加

議会広報

8月25日・26日に、平成22年度第72回町議会広報研修会が東京で開催された。全国から参加した町議会広報委員会が、3つの分科会に分かれて研修を行った。

新潟県からは3町村が参加した。

今回の研修で初日は、「わかりやすい文章表現・表記」「読まれる広報紙のつくり方」「ネットPR発想で考える自治体ホームページの活用方法」について研修した。

わかりやすい文章表現については、今後の広報に反映したい。

2日目の広報クリニックでは、3月議会の中で次年度予算委員会があり、大事なので最初のページに載せ



る。全体構成のあり方など、今まで指摘されなかったことについて取り上げられた。今後、今回の研修を受けたことを92号より改善したい。

# 委員会閉会中の



# お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか 次回12月定例会で 日曜議会

12月定例会で日曜議会を実施します。(12月5日開催予定)  
日曜議会については、平成16年12月定例会から年1回開催され、今年で7回目を迎えます。

今、町ではどんなことが問題になっていて、どんな議論がされているのか。町政は皆さんの身近なものです。お気軽に傍聴においでください。

なお、一般質問の通告一覧は、事前に、役場1階受付、町民会館、図書館、保健福祉センターに設置しますのでご覧ください。



## 募集しています

あなたもみんなのページ  
聖籠町に嫁いで来た  
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方は、お気軽にご連絡下さい。  
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)  
聖籠町役場議会事務局  
☎0254-27-1967 (直通)

## 議会広報対策 特別委員会

議長	須貝 龍夫
委員長	中村恵美子
副委員長	高松 守雄
委員	小川益一郎
	宮沢 光子
	田村富美男
	小林 政榮

# みんな

# の

# ページ

## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

### 素敵な笑顔 本当にありがとう!!



堀 友樹 さん  
(ひばりが丘)

#### Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

職場で出会いました。  
第一印象で絶対に結婚して子どもがいるに違いないと思っていた彼が、実は独身で同い年と知った時にはとても驚きましたが、同時にうれしく思いました。きっとその時に、私は既に彼に恋をしていたんだと思います。

#### Q 聖籠町に嫁いで来てどんなイメージを持ちましたか？

“住みやすい所だよ”と、聖籠町に引っ越して来る前から色々な人に言われて来ましたが、住んでみて本当に実感しています。  
果物が大好きな私には果樹園がたくさんある町、というのもとてもうれしいことです。  
自然がたくさんで空気がキレイだなあとも感じました。

#### Q 町での生活はどうですか？

とにかく皆さん良い人ばかりで、スーパーに行くのも楽しいです。  
レジの方とお話したりできることが、今まで住んでいた場所では考えられなかったことなので、話しかけてもらえるのが本当にうれしくなります。  
ご近所の方々、プラントにある地場物産の店員さん、スタンドの店員さん、町役場の職員の方々、素敵な笑顔を本当にありがとうございます。

#### Q 町に望むことはありますか？

まだ聖籠町にお友達がいないので、同じく聖籠町に嫁いで来た方と一緒に、聖籠町ならではの料理などを学べるイベントを催していただけたらすごくうれしいです。  
地域の方とふれ合えるイベントなどにも是非参加したいです。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は上越市出身で、平成22年4月にひばりが丘に嫁いで来た堀 友樹(旧姓 鳥原)さんです。  
皆さんよろしくお願います。

今年の夏は今までにない猛暑、酷暑を経験しました。地球が壊れ始めたのかと実感させられる夏だったような気がします。  
猛暑の中で聖籠町の町長選が行われ、現職の町長が5選目を決めました。  
8年振りに選挙があったことよって、いい意味でも悪い意味でも町の中に様々な風が吹き荒れたように感じます。  
9月17日、新内閣の顔ぶれが決まり、国政も新たなスタートです。  
新内閣の目玉、総務相に前鳥取県知事「片山善博氏」が民間登用されました。片山氏の政治手腕に期待が高まります。  
先般、片山氏を講師に迎え、県の町村議長会で議員研修が行われました。  
「議会は機能しているか」という主旨で、耳の痛い話がたくさんありました。改めて地方議会人としてのあり方を問われた思いでした。

議会広報対策特別委員会  
委員 宮沢 光子

## 編集後記